

地理学特殊講義1B－Ⅱ

科目ナンバリング GGR-202
選択必修 2単位

吉野 裕

1. 授業の概要(ねらい)

人間は聖地を訪れた際に自身の宗教心を満たしたり、観光を楽しんだりします。このような聖地への参詣・巡礼は、我々人間にとって不可欠な活動のひとつとなっています。また、人間は必要に応じて聖地を新たに設置することもあります。この講義では、「文化地理学」・「宗教地理学」の視点で著された世界や日本の聖地、および参詣・巡礼に関する研究を多数紹介していきます。以上の内容に加え、聖地の存続を支えるそれぞれの宗教・信仰の人口の動向についても解説を行います。

2. 授業の到達目標

- ①世界や日本の宗教人口とその動向を把握し、これらの概要について専門用語を用いて説明できる。
- ②宗教地理学・文化地理学に関する専門用語を用いながら、世界や日本の参詣・巡礼の概要について説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

試験の結果(80%)と受講態度(20%)をもとに、成績を総合的に評価します。

- ・試験による成績評価の基準:世界と日本の宗教人口とその動向、ならびに参詣・巡礼の概要について、専門用語を用いて説明できているかを基準に成績を評価します。
- ・受講態度による成績評価の基準:毎回、配布するリアクションペーパーの記載内容をもとに成績を評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定はしません。

参考文献

早瀬保子・小島宏編著

『世界の宗教と人口』 原書房

イアン・ブラッドリー 『ヨーロッパ聖地巡礼』 創元社

上記以外にも、随時紹介します。

5. 準備学修の内容

- ・事前に授業内容に関する書籍を図書館などで探し、読んで知識を獲得してください。
- ・授業で取りあげた専門用語の意味を、地理学とその隣接分野の事典で調べ、ノートにまとめてください。

6. その他履修上の注意事項

毎回、リアクションペーパーを配布します。これに質問・意見・要望などを自由に書いて提出してください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、受講上の諸注意
- 【第2回】 世界の宗教人口①宗教の分布
- 【第3回】 世界の宗教人口②宗教人口の変化
- 【第4回】 ヨーロッパの聖地と巡礼①歴史
- 【第5回】 ヨーロッパの聖地と巡礼②現在の巡礼
- 【第6回】 ヨーロッパの聖地と巡礼③世界遺産登録とその影響
- 【第7回】 日本の宗教分布
- 【第8回】 日本の参詣・巡礼①伊勢信仰
- 【第9回】 日本の参詣・巡礼②四国八十八カ所・西国三十三カ所
- 【第10回】 日本の参詣・巡礼③霊山 富士山
- 【第11回】 日本の参詣・巡礼④霊山 青森県・秋田県
- 【第12回】 日本の参詣・巡礼⑤霊山 山形県
- 【第13回】 創造される参詣・巡礼①初詣
- 【第14回】 創造される参詣・巡礼②パワースポット
- 【第15回】 まとめと試験